

4 広報事業・その他

4-1 印刷物の発行

| 名 称 | 発行年月 | 部 数 | 内 容 | 備 考 |
|-----|--------|-----|-------------|-----|
| 年 報 | H20年8月 | 350 | 平成19年度の業務報告 | |

4-2 インターネットによる情報提供

当所に関する情報や、沖縄の工芸に関する情報の提供を平成13年12月より行っている。当所で開催される展示会や技術情報など、従来ではカバーできなかった一般の方々や個人工芸従事者に向けた情報発信手段として提供している。

ホームページアドレス：<http://wl.nirai.ne.jp/okikousi/top.htm>

4-3 審査員・委員会及び講師派遣

| 名 称 | 主 催 | 期 間 | 場 所 | 職 員 名 |
|--------------------------------------|-----------------------------------|---------------------------|-----------|---------------|
| (審査員) 平成20年度沖縄県優良県産品 推奨制度事業審査会 | (株)沖縄県物産公社 | H20.4.21~H20.9.17 (4回) | 産業支援センター | 糸数 政次 |
| 平成20年度製造業重点分野支 援事業費事前審査 | 沖縄県商工振興課 工業班 | H20.5.14 | (株)イワキ | 玉城 研 |
| Okinawa型産業振興プロジェク トデザインコンテスト説明会 | OKINAWA型産業振 興プロジェクト推 進NW事務局 | H20.5.14 | てだこホール | 大城 直也 |
| Okinawa型産業振興プロジェク トデザインコンテスト審査会 | OKINAWA型産業振 興プロジェクト推 進NW事務局 | H20.10.6 | 琉球大学 | 大城 直也 |
| 第11回琉球かすりファッショ ンデザインコンテスト審査会 | 南風原町ふるさと まつり実行委員会 | H20.11.2 | 南風原町中央公民館 | 伊元 幸春 |
| (委員会) 「伝統工芸士認定事業」産地 委員会 | 琉球びんがた事業 協同組合 | H20.7.9、7.29 | 那覇市てんぶす館 | 伊元 幸春 |
| 「伝統工芸士認定事業」産地 委員会 | 那覇伝統織物事業 協同組合 | H20.7.10、7.17 | 那覇市てんぶす館 | 伊元 幸春 |
| 「伝統工芸士認定事業」産地 委員会 | 琉球絣事業協同組 合 | H20.7.15、10.8 | 琉球かすり会館 | 伊元 幸春 玉城 研 |
| 琉球絣ファッションデザイン コンテスト | 実行委員会 | H20.8.29 | 琉球かすり会館 | 伊元 幸春 |
| 伝統的工芸品功労者褒賞選考 委員会 | 琉球絣事業協同組 合 | H20.10.1 | 琉球かすり会館 | 伊元 幸春 玉城 研 |
| 第11回琉球かすりファッショ ンデザインコンテスト審査会 | 南風原町ふるさと まつり実行委員会 | H20.11.2 | 南風原町中央公民館 | 玉城 研 |

| | | | | |
|---------------------------------|--------------------|------------|------------|---------------|
| (講師派遣) | | | | |
| 伝統工芸製品検査員辞令交付式 | | H20. 4. 4 | 工芸技術支援センター | 玉城 研 |
| 伝統工芸製品検査員研修会 | | H20. 4. 15 | 商工振興課 | 玉城 研 土屋 百恵 |
| 琉球絣伝統工芸士研修会 | | H20. 9. 22 | かすり会館 | 伊元 幸春 |
| チャンプルー人材育成事業 知花花織パソコンデザイン研修会 | 沖縄県中部中央地域雇用創造協議会 | H21. 1. 13 | 知花花織事業協同組合 | 玉城 研 |
| デザインセミナー | Okinawa型産業振興プロジェクト | H21. 3. 14 | 産業支援センター | 大城直也 |

4-4 関係会議・職員派遣研修

| 名 称 | 期 間 | 場 所 | 職 員 名 |
|------------------------------|--|---|------------------------|
| (関係会議) 一県内 | | | |
| 平成20年デザイン戦略事業企画調整会議 | H20. 4. 7～H21. 3. 14 (40回) | 沖縄県庁、浦添市、フラザハウス、デザインセンターゼロ、おもろ町、那覇市てんぶす館、武道館、プレイン沖縄 | 伊元 幸春 大城 直也 玉城 研 |
| 平成20年デザイン事業振興施策意見交換会 | H20. 4. 18、5. 16、5. 27 | 沖縄県総合事務局 | 伊元 幸春 大城 直也 玉城 研 |
| 平成20年デザイン戦略事業意見交換会 | H20. 4. 23～11. 20 (7回) | 沖縄県庁、那覇市、デザインセンターゼロ、工芸技術支援センター、フラザハウス | 伊元 幸春 大城 直也 玉城 研 |
| 工芸産業施策説明会 | H20. 4. 28 | 沖縄県庁 | 伊元 幸春 |
| 浦添市経済活性化促進協議会 | H20. 5. 12～H21. 2. 18 (3回) | 浦添市役所 | 伊元 幸春 |
| 技能検定委員会 辞令交付式及び調整会議 | H20. 6. 8 | 那覇地域職業訓練センター | 大城 直也 |
| 第11回琉球かすりファッションデザインコンテスト企画会議 | H20. 6. 8、6. 11、7. 4 | 琉球かすり会館 | 玉城 研 |
| 平成20年デザイン戦略第1～4回検討委員会及び事前調整 | H20. 6. 27、10. 27、12. 15 H21. 1. 15 | 沖縄県庁、ハーバービューホテル、東京 | 伊元 幸春 大城 直也 |

| | | | |
|--|--------------------|----------|--|
| 試験研究評価会議（工業：工芸部門） デザイン戦略事業調整会議 | H20. 8. 21 | 工業技術センター | 伊元 幸春 |
| －県外－ | | | |
| 第2回繊維分科会総会及び全織協総会 | H20. 5. 29～5. 30 | 石川県 | 伊元 幸春 |
| 平成20年繊維分科会デザイン研究会会議 | H20. 7. 9～7. 11 | 茨城県 | 比嘉 利寛 |
| 平成20年繊維分科会アパレル研究会 | H20. 7. 16～7. 18 | 山梨県 | 玉城 研 |
| 平成20年九州地方公設試験研究機関事務連絡会議 | H20. 7. 30～7. 31 | 福岡県 | 比嘉 麻子 |
| 平成20年産業技術連携推進会議製造プロセス部会 第16回塗装工学分科会 | H20. 9. 18～9. 19 | 大分県 | 系数 政次 |
| 中国・四国・九州地域連絡会議及び全国繊維工業技 術協会中国・四国・九州支部総会 | H20. 9. 18～9. 19 | 那覇市 | 伊元 幸春 比嘉 利寛 大城 直也 玉城 研 湧田 裕子 仲間 大三 土屋 百恵 |
| 平成20年全国繊維技術交流プラザ展示会 | H20. 10. 7～10. 8 | 東京都 | 比嘉 利寛 仲間 大三 |
| 産業技術連携推進会議（デザイン研究発表会） | H20. 11. 7 | 東京都 | 大城 直也 |
| （派遣研修） | | | |
| 新採用職員前期研修 | H20. 4. 7～4. 11 | 自治研修所 | 仲間 大三 |
| 第1回フレッシュマントレーナー養成研修 | H20. 4. 16 | 自治研修所 | 比嘉 利寛 |
| 木材接着技術講習会 | H20. 7. 2～7. 3 | 東京都 | 大城 直也 |
| 情報セキュリティ研修 | H20. 9. 26 | 沖縄県庁 | 玉城 研 |
| 木材乾燥講習会 | H20. 10. 1～10. 3 | 東京都 | 湧田 裕子 |
| 新採用職員後期研修 | H20. 10. 20～10. 24 | 自治研修所 | 仲間 大三 |
| 第13回交渉力・説得力強化セミナー | H20. 11. 4～11. 5 | 自治研修所 | 玉城 研 |

4 - 5 展示会等への出展

| 催 事 名 | 主 催 | 会 期 | 会 場 |
|----------------------------|--------------------|--------------------|----------------|
| 第32回沖縄の産業まつり | 沖縄県 | H20. 10. 24～10. 26 | 県立武道館アリーナ棟 |
| 第13回沖縄ウッディグランドフェア | 沖縄ウッディグランドフェア実行委員会 | H20. 11. 6～11. 9 | 沖縄プラザハウス(沖縄市) |
| デザイン戦略展示会 | 沖縄県 | H20. 12. 12～12. 14 | 沖縄プラザハウス(沖縄市) |
| IFF (インターナショナル・ファッション・フェア) | 沖縄県 | H21. 1. 14～1. 16 | 国際展示場(東京都) |
| デザイン戦略展示会 | 沖縄県 | H21. 2. 19～3. 4 | 銀座わしたショップ(東京都) |

4 - 6 施設見学等

| 名 称 | 期 間 | 見学者数(名) | 備 考 |
|-----------------|-------------|---------|---------|
| 具志川商業高校PTA | H20. 6. 10 | 5 | 視察 |
| 沖縄県立沖縄工業高等学校 | H20. 7. 1 | 7 | |
| 大川家具工業会 | H20. 9. 12 | 6 | 今後の事業の為 |
| 沖縄県立芸術大学美術工芸学部 | H20. 9. 25 | 6 | |
| 那覇不動産鑑定 | H20. 10. 6 | 2 | |
| 浦添市てだこ学園大学院 | H20. 10. 14 | 4 8 | |
| 中頭地区社会教育主事協会 | H20. 11. 6 | 1 3 | |
| 宜野湾市民生委員・主任児童委員 | H20. 11. 19 | 2 0 | |
| 神奈川県産業技術センター | H21. 2. 25 | 3 | |

4-7 分科会、研究会の開催

平成20年度 産業技術連携推進会議 ナノテクノロジー・材料部会 繊維分科会中国・四国・九州地域連絡会総会（技術専門委員会を含む）及び 全国繊維工業技術協会中国・四国・九州支部総会

担当 比嘉 利寛

1. 趣旨

本会は、産業技術連携推進会議繊維分科会及び全国繊維工業技術協会の下部組織であり、中国、四国、九州地域に所属する公設試験研究機関をもって組織されている。本会は、会員相互の試験研究業務にかかる研鑽を行い、地域繊維産業、中小繊維企業の技術向上及び発展を目的に地域部会総会を開催して事業計画を策定すると共に繊維技術専門委員会を設置して、年1回以上開催される。平成20年度は沖縄県で開催された。

2. 会期

平成20年9月18日（木）～19日（金）

3. 会場

オーガスト・イン久茂地
沖縄県那覇市久茂地3-1-10

4. 内容

第1日目 9月18日（木）

受付 13:00～13:30

○繊維分会中国・四国・九州地域連絡会総会
及び技術専門委員会
（総会） 13:30～14:30

1) 開会

2) 地域連絡会担当挨拶

繊維分科会中国・四国・九州地域連絡
会担当 徳島県立工業技術センター
所長 野々村 俊夫

3) 歓迎挨拶

沖縄県観光商工部商工振興課
課長 上與那原 美和子

4) 出席者紹介

5) 議長選出

6) 議事

①平成20年度産業技術連携推進会議ナノ
テクノロジー・材料部会繊維分科会総
会等の報告

②審議事項

③産地の状況

休憩 14:30～14:40

（技術専門委員会） 14:40～16:00

7) 指導事例

①繊維製品の異臭原因の特定
岡山県工業技術センター

②快適性のある手袋や長靴製品の開発
広島県立総合技術研究所 東北部工
業技術センター

③タオルデザイン企画手法開発研究
愛媛県産業技術研究所 繊維産業技
術センター

④阿波藍を使った商品開発事例（2件）
徳島県立工業技術センター

⑤椅子生地のカビ様ムラ原因究明
福岡県工業技術センター 化学繊維
研究所

⑥藍下泥染めの高堅ろう度染色方法
鹿児島県大島紬技術指導センター

⑦ウージ染め協同組合における新商品開
発支援
沖縄県観光商工部商工振興課 工芸
技術支援センター

8) 研究発表

「インジゴ染料による皮革および羊毛の染
色に関する検討」

岡山県工業技術センター 前田 進悟

「一重項酸素化抑制法による絹染色布の耐光堅牢度の向上」

福岡県工業技術センター

化学繊維研究所 堂ノ脇 靖巳

「伝統染織を展開した製品開発研究 - デザイン開発 -」

沖縄県観光商工部商工振興課 工芸技術支援センター 比嘉 利寛

9) 閉会

○全国繊維工業技術協会中国・四国・九州支部総会

(総会) 16:00~17:00

1) 事業報告

①平成19年度事業及び決算報告

②平成20年度事業計画及び予算書

③次期開催県及び役員の確認

2) 指示連絡事項

①繊維分科会及び全織協中・四・九地域の開催機関・役員ローテーション

3) その他

①第46回全国繊維技術交流プラザについて

4) 閉会

○交流会 オーガスト・イン久茂地

<和風 dining forest> 18:00~20:30

第2日目 9月19日(金)

○研修会 9:00~12:15

1) 視察場所

①城間びんがた工房

沖縄県那覇市首里山川町1-113

・内容：講話・施設見学

「琉球びんがたの技術、技法について」

・講師：城間 栄順

城間びんがた工房 代表

②(財)海洋博記念公園管理財団

首里城公園管理センター 首里城公園

沖縄県那覇市首里金城町1-2

・内容：施設見学

琉球王朝文化、歴史を踏まえ、貴重な美術工芸遺産を見学することにより、沖縄県の独創的な工芸品の素材及びデザインの把握を図る。

5. 会議出席者名簿

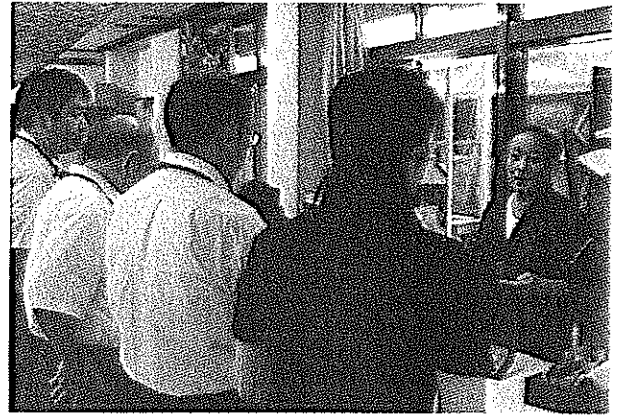
| | |
|---|---|
| 1 | 岡山県工業技術センター 化学系技術部繊維・新素材グループ 研究員 前田 進悟 |
| 2 | 愛媛県産業技術研究所 繊維産業技術センター 技術支援室 室長 高橋 俊明 |
| 3 | 徳島県立工業技術センター 生活科学課 専門研究員 川人 美洋子 |
| 4 | 福岡県工業技術センター 化学繊維研究所 繊維技術課 専門研究員 堂ノ脇 靖巳 |
| 5 | 鹿児島県大島紬技術指導センター 機織研究室 室長 平田 清和 |
| 6 | 沖縄県観光商工部商工振興課 副参事 石川 春寿 |
| 7 | 沖縄県観光商工部商工振興課 工芸技術支援センター 室長 伊元 幸春 主任研究員 比嘉 利寛 研究員 大城 直也 研究員 玉城 研 研究員 湧田 裕子 研究員 仲間 大三 臨任(技師) 土屋 百恵 |



担当県挨拶 徳島県立工業技術センター



開催県挨拶 沖縄県商工振興課 石川副参事



研修会 城間びんがた工房



繊維分科会・中・四・九地域連絡会総会及び
技術専門委員会



研修会 城間びんがた工房



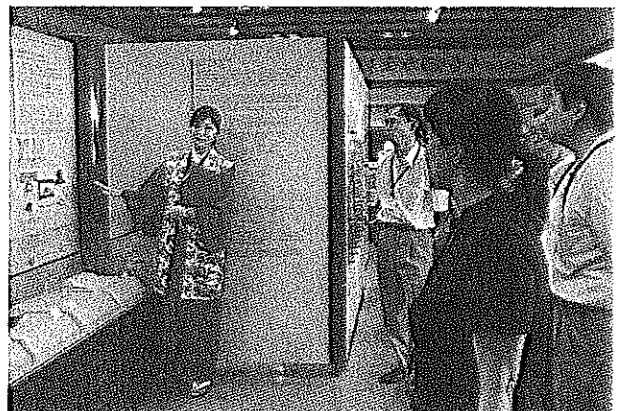
研究発表



研修会 首里城公園



全国繊維工業技術協会中・四・九支部総会



研修会 首里城公園

平成20年度 全国繊維技術交流プラザ

担当 比嘉 利寛

1. 趣旨

全国公設試験研究機関の繊維分野の新技术、新製品開発等の研究成果を発表し、広く中小企業に開発成果を普及し事業化を図るとともに、産学官による交流の場を通じて地域繊維産業の総合的な技術力向上を図ることを目的としています。

2. 主催

全国繊維工業技術協会
(財)日本産業技術振興協会・岐阜県

3. 共催

産業技術連携推進会議ナノテクノロジー・
材料部会 繊維分科会

4. 後援

経済産業省、中小企業庁、(独)産業技術
総合研究所(社)日本繊維機械学会

5. 会期

平成20年10月7日(火)～10月8日(水)

6. 会場

じゅうろくプラザ5F
(中会議室・小会議室)
岐阜県岐阜市橋本町1丁目10-11
所長 野々村 俊夫

7. 内容

(1) 作品展

【区分1】公設試験研究機関の試作品及び指導作品(表彰審査対象)

【区分2】公設繊維関連試験研究機関の研究成果パネル

(2) デザイン展

産業技術連携推進会議ナノテクノロジー・材料部会繊維分科会デザイン研究会関係機関による巡回デザイン展

(3) 研究成果発表会

公設試験研究機関の研究成果を口頭で発表する

8. 当センター出展作品

今回、当センターでは以下の内容で出展し優秀賞を受賞した。

(1) 作品名

織物素地を活かしたビジネス用品

(2) ねらい

沖縄県で定番となった「かりゆしウェア」の様に、ビジネスシーンに馴染む定番的な携行品。織物素地を活用した小物類。

(3) 設定アイテム

①書類入れ(A4サイズ縦型)

②書類入れ(A4サイズ横型)

③ペンケース ④名刺入れ

⑤チケットホルダー

(4) 使用する素材

素地：琉球絣(南風原花織)

手織り布2種類(赤茶・紺)

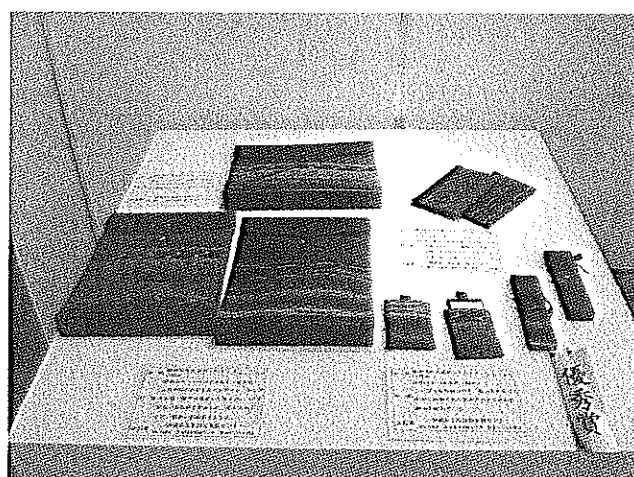
レザー：本牛革(黒)

ボックスキン(紺)

(5) 試作協力

大城廣四郎織物工房

赤嶺手づくり教室



出展作品

4-8 展示会の開催

第35回工芸技術支援センター展

1. 開催趣旨

工芸技術支援センターは、沖縄独自の技術と素材、そして創造力を活かし新たな可能性をチャレンジする「明日を拓く工芸産業支援機関」として業務を行っている。当センターの試験研究及び技術支援、技術者養成における成果を展示発表することにより、工芸関連業界及び一般県民に広く周知するとともに、本県工芸産業の振興・発展に寄与することを目的に開催する。

2. 内容

工芸産業における手づくりの良さを活かした技術・技法の改善や工芸製品の開発研究、工芸技術者の養成業務等の紹介や工芸技術情報の提供を行うとともに、当センター技術研修生（織物、紅型、木工、漆工）の研修成果を展示する。

3. 日時

平成21年3月11日（水）～15日（日）
午前10時～午後8時30分

4. 会場

リウボウ7階 リウボウホール

5. 催事構成

(1) 試験研究成果（4テーマ）

- ① 県産資材活用による製品開発研究
- ② 型染用防染糊に関する研究
- ③ 沖縄の植物染料の抗菌性に関する研究
- ④ デイゴの材特性改善に関する研究

(2) 技術指導、技術者養成等

※ 日常業務（講習会・技術指導・技術者研修等）の状況を映像により紹介。

- ① 技術相談、技術者養成相談など
- ② 工芸技術情報（新技術情報など）

(3) 研修生作品及び所内技術指導成果

平成20年度研修生及び所内技術指導の作品

を展示紹介。

① 織物課程

緋・紋織技術による着尺地、着物、帯地等

② 紅型課程

紅型技術による着尺地、帯地、飾布、服地等

③ 木工課程

挽物・指物技術による整理箱、椅子、皿類等

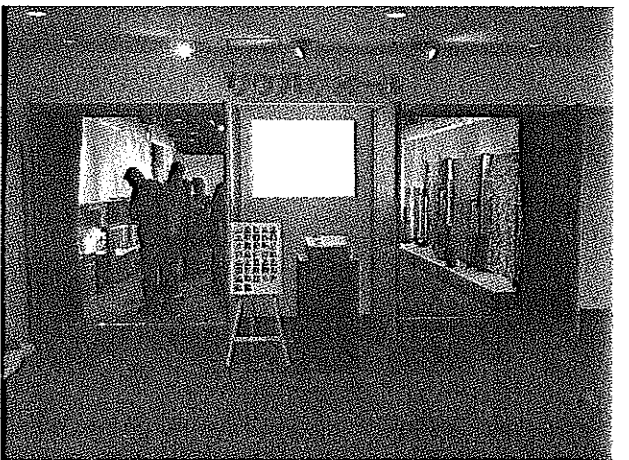
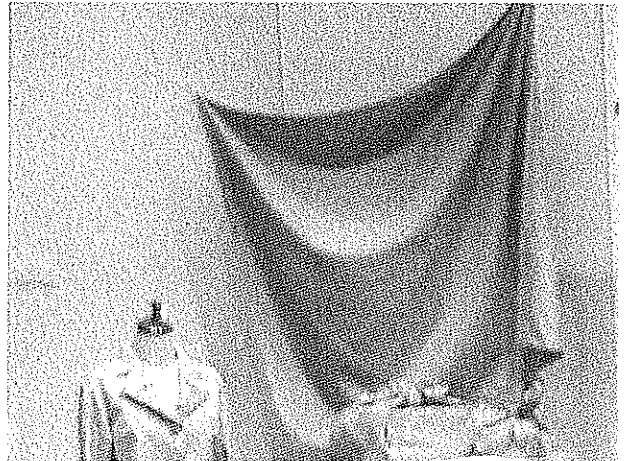
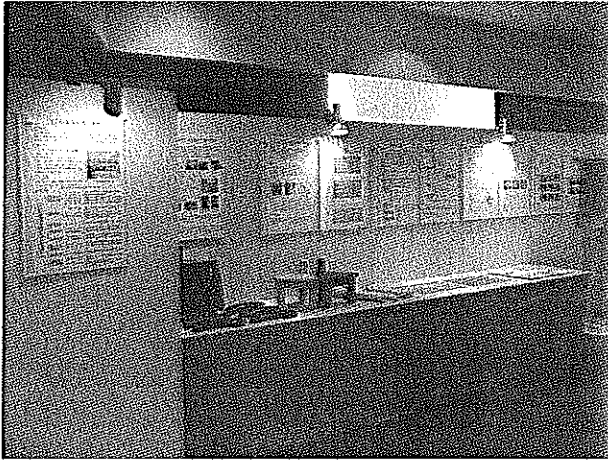
④ 漆工課程

漆工技術による2段重箱、小鉢、四方盆等

6. 入場者数

計1,511名





展示会の企画・開催（ウチナーヌみいかじ展）

担当 玉城 研 糸数 政次

1. 開催趣旨

工芸技術支援センターにおける工芸技術研修修了生の作品展示販売を開催することで研修修了生の生産意欲の高揚を図るとともに、工芸関係者及び一般県民から評価・意見や要望を直接聞くことで、今後のものづくりに役立てていくこととする。

併せてこれからの工芸産業を担う技術者の育成に寄与するとともに、本県工芸産業の振興発展を図ることを目的とする。

2. 日 時

平成21年3月17日（火）～23日（月）
午前10時～午後8時30分
最終日は午後5時迄

3. 会 場

リウボウ7階 リウボウホール

4. 出展団体

工芸技術支援センター研修修了生、所内技術指導修了生等で組織する「木と漆の会」「染と織の会」「うるし組」の会員による作品展示販売。

○木と漆の会

木工研修修了生、所内技術指導修了生で構成された団体

○染と織の会

織物、紅型の研修修了生、所内技術指導修了生で構成された団体

○うるし組

漆工研修修了生、所内技術指導修了生等で構成された団体

5. 催事構成

<団体紹介及び企画展示>

参加している3団体を紹介するコーナー。発足経緯や活動状況等を紹介。

また各技術の紹介と出品事業者の商品をピックアップし展示・販売する。

<展示即売>

工芸品の生活日用品としての活用を図るため、

工芸技術支援センター研修修了生、所内技術指導修了生の作品展示販売を行う。

○出展品目

「木と漆の会」：椅子、テーブル、挽き物、時計、アクセサリー等

「染と織の会」：帯、バッグ、ウェア、小物類、タペストリー等

「うるし組」：食卓セット、アクセサリー、文鎮、棗等

6. 開催までの経緯

昨年まで、リウボウホールの工芸技術支援センター展とリウボウ美術サロンの同展示会で同時開催していた。しかし、今年は美術サロンでの同時開催が難しく、センター展終了後の次週での開催となった。

昨年までは美術サロン主導の基に事業者が参加するスタイルをとっていたが、リウボウホール開催については、開催者側が主体となった展示・販売が求められた。そのため当センター職員の関わりが重要となった。

7. 企画・調整

<第1回調整会議>

20年10月23日に3団体、木と漆の会、染と織の会、うるし組代表者を交えた1回目の出展者調整会議を行った。

リウボウ側から提示条件を報告し、本年度開催にあたっての内容確認を行った。

協議の結果、開催場所及び日程は提案のとおりで了承を得られた。

その結果、①リウボウと及び出展者との窓口②会場ロビースペースのディスプレイ③DM製作等をセンター職員が担当することで決定した。

<第2回調整会議>

21年2月26日に3団体(5名)及び職員(4名)を計9名で2回目の出展者調整会議を行った。

◇主な調整内容は以下のとおり(事前準備と期間中の注意事項について検討した)

①出品者及び商品リスト作成について②価格表示及び商品管理について③ギフト用包装について④会場内の展示及び必要備品について

◇リウボウサイドは、接客及び商品の管理等は行わないため、当日の対応方法や接客及び商品管理についての最終確認を行った。

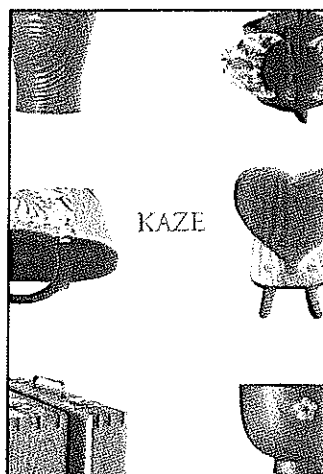
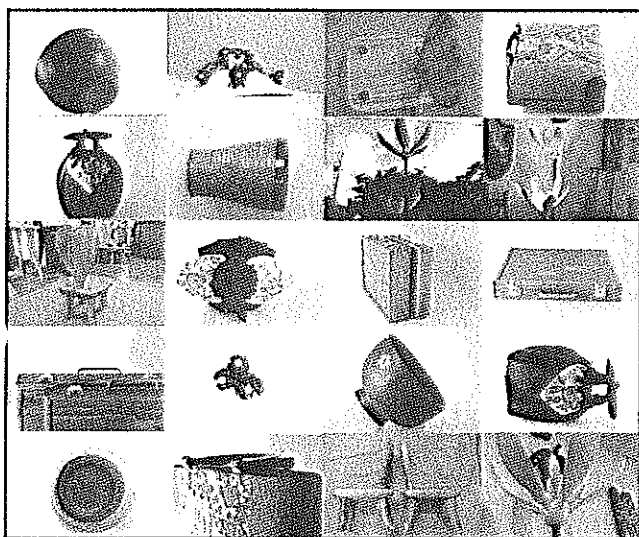
8. 支援内容

- ◇展示会事務局(連絡・調整等)
- ◇DMデザイン及び製作・配布
- ◇会場ディスプレイ
- ◇会場設営及びディスプレイ指導

1) DMデザインについて

デザインを考えるにあたり、販売を強く意識したデザインを心がけた。性別としては女性を意識し年齢層としては40代半ば～50代半ばを意識した。工芸品の購入者として共通しているのが「女性」であり年齢層としては、上記の年齢より更に上がると考えているが、あえて年齢層を下げ、通常よりも若い層へのアプローチを図った。

◇清潔感◇新鮮さ◇爽やかさをイメージさせ商品もオーソドックスなものより、新商品や変わった形状のものを選択した。



■提案したDM(案)

■撮影及び画像処理を含むデザイン作業をセンター職員が担当した。

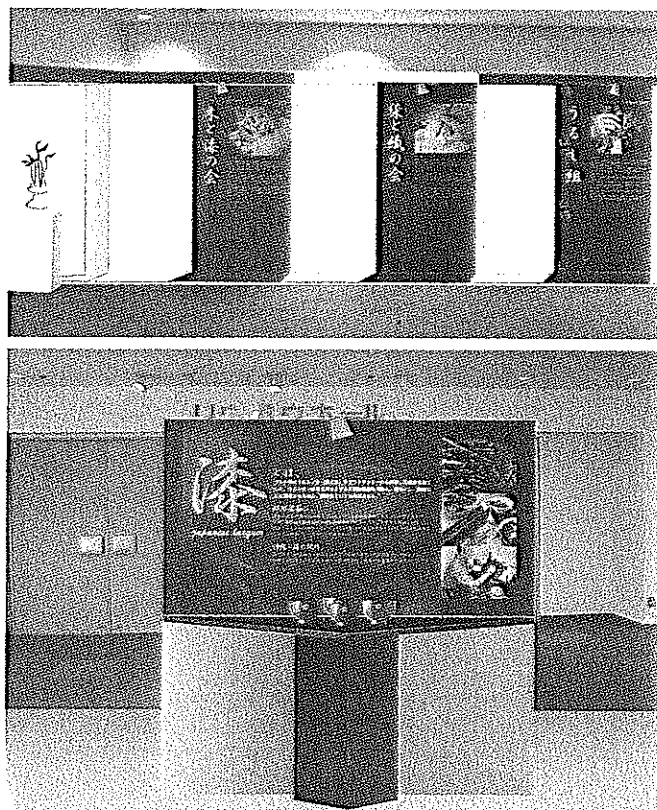
■撮影協力

◇ちゅら工房、眞赭木彫屋、依依工房、紅型工房くろ、b12、仲西常次

2) 会場ディスプレイ

会場ロビー部分のレイアウトは購買者の目を引くインパクトのある空間にして集客率を上げるために空間イメージをCGによるシミュレーションを作成した。最終的に下イメージによる展示を実施することにした。

会場設営は、団体毎に分けて展示することにし、各団体でディスプレイをした後、職員によりディスプレイ指導を行い購買意欲が増すようにコーディネートした。



会場の最終イメージ

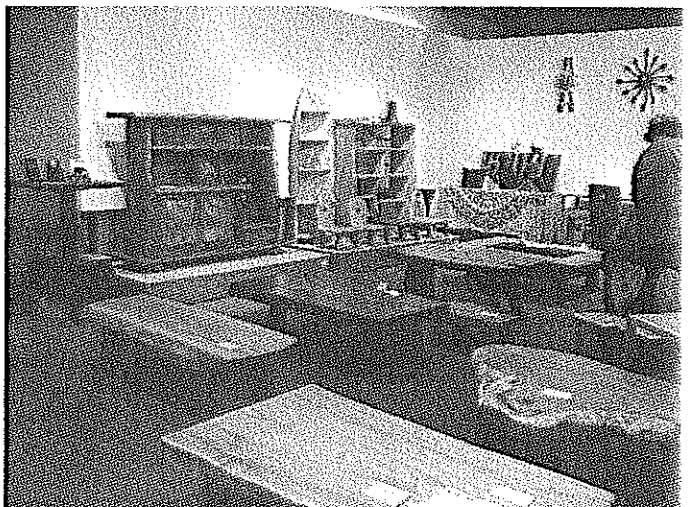
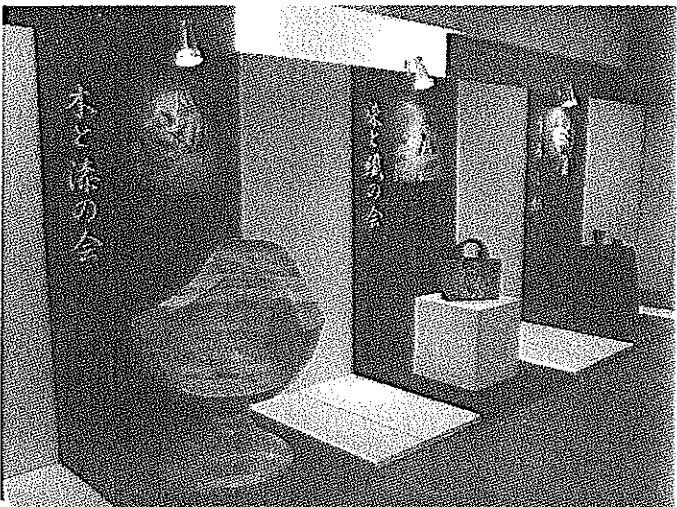
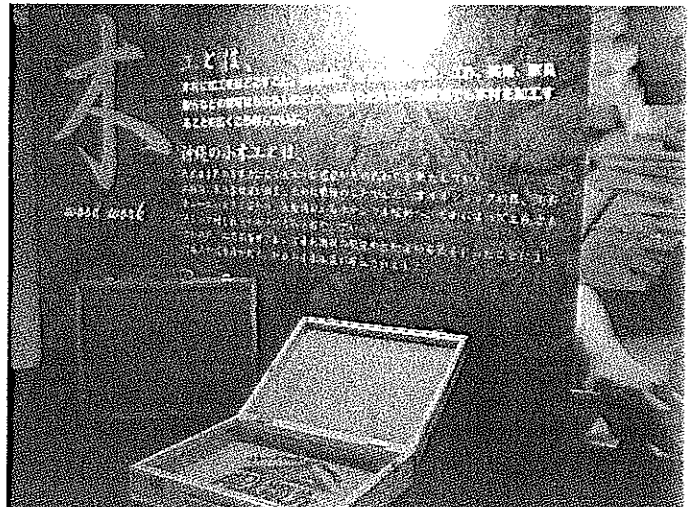
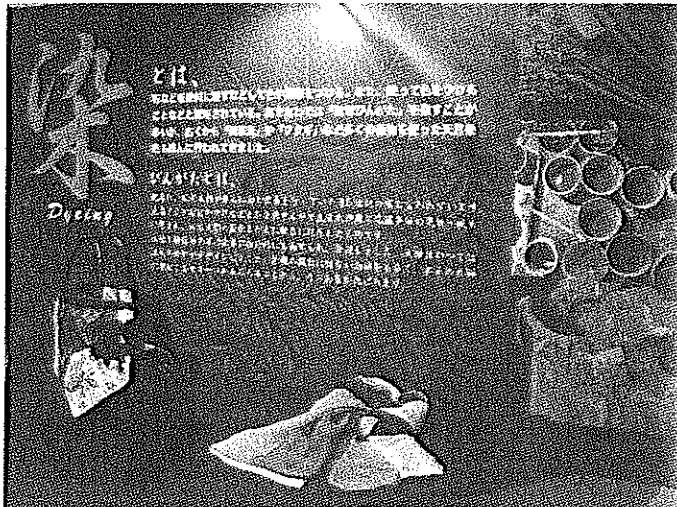
8. 結果

出品者数:木と漆の会5工房、染と織の会9工房、うるし組12工房、合計26工房。

出品点数:木と漆の会92点、染と織の会848点、うるし組395点、合計1335点。

総売上:761,975円

会場担当者から総売上が悪く、各団体販売意欲が見られないとの指摘があった。結果として厳しい評価ではあったが、その評価が大きな財産になり今後の展示会にあたって非常に重要な情報を得たと考える。次回の展示会は、センターにより工房のセレクト、売れ筋商品の開発、会場のコーディネートをすることによって販売戦略のノウハウを提案し支援していく。



4-9 年度別依頼試験件数

| 試 験 項 目 | | 平成16年度 | 平成17年度 | 平成18年度 | 平成19年度 | 平成20年度 |
|-------------------|-------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 糸 の 試 験 | 引張り強さ及び伸び試験 | | | 16 | | |
| 染色堅ろう度試験 | ・耐 光 試 験 | 16 | 15 | 1 | 1 | 4 |
| | ・洗 濯 試 験 | 14 | 12 | 1 | | 4 |
| | ・汗 試 験 | 14 | 12 | 1 | 1 | 4 |
| | ・摩 擦 試 験 | 14 | 12 | 1 | | 9 |
| 染料・材料又は 薬剤鑑定試験 | ・染料部属判定試験 | | | | | 1 |
| | ・染糊剤鑑定試験 | | | | | |
| | ・浸 染 試 験 | | | | | 4 |
| 試作及び加工 | ・糸 の 漂 白 | | | | | 1 |
| 原材料強弱試験 | ・曲 げ 試 験 | | | | | |
| | ・圧 縮 試 験 | | | | | |
| | ・せん断試験 | | | | | |
| 物 性 試 験 | ・比 重 測 定 | | | | | |
| | ・含 水 率 測 定 | | 12 | | | |
| 計 | | 58 | 63 | 20 | 2 | 27 |

4-10 年度別設備貸与件数

| No. | 機 器 名 | 16年度 | 17年度 | 18年度 | | 19年度 | | 20年度 | |
|-----|-----------------|------|-------|------|-------|------|-------|------|-------|
| | | 件数 | 件数 | 件数 | 時間 | 件数 | 時間 | 件数 | 時間 |
| 1 | 糸引張試験機 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 2 | 染色耐光試験機 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 3 | 染色摩擦試験機 | 1 | — | — | — | — | — | — | — |
| 4 | 染色洗濯試験機 | 1 | — | — | — | — | — | — | — |
| 5 | 染色汗試験機 | 1 | — | — | — | — | — | — | — |
| 6 | 繰返機 | 1 | — | 9 | 41 | 2 | 6 | 9 | 16 |
| 7 | 繰揚機 | 3 | 2 | 4 | 6 | 2 | 3 | 13 | 26 |
| 8 | 染色機 | 0 | 24 | 22 | 68 | 41 | 92 | 40 | 113 |
| 9 | トレースコープ | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 10 | 蒸し機 | 90 | 104 | 97 | 99 | 54 | 55 | 32 | 33 |
| 11 | ボールミル | — | — | — | — | — | — | 1 | 1 |
| 12 | 万能ミキサー | — | 1 | — | — | — | — | — | — |
| 13 | 合擦機 | 6 | — | 6 | 24 | 3 | 11 | 6 | 10 |
| 14 | つりのこ盤 | 52 | 68 | 30 | 31 | 27 | 27 | 79 | 87 |
| 15 | 丸のこ昇降機 | 144 | 104 | 55 | 57 | 81 | 90 | 61 | 63 |
| 16 | 手押しかな機 | 156 | 160 | 156 | 167 | 134 | 139 | 172 | 201 |
| 17 | 手動角のみ盤 | 43 | 45 | 25 | 26 | 26 | 28 | 44 | 49 |
| 18 | 自動一面かな盤 | 178 | 200 | 188 | 198 | 118 | 124 | 79 | 81 |
| 19 | 糸のこ盤 | 51 | 80 | 32 | 44 | 61 | 99 | 59 | 85 |
| 20 | ベルトサンダー | 56 | 52 | 23 | 27 | 26 | 42 | 53 | 56 |
| 21 | 木材乾燥機 | 40 | 17 | 31 | 3,143 | 17 | 1,376 | 10 | 449 |
| 22 | 塗装ブース | 9 | 5 | 1 | 1 | — | — | — | — |
| 23 | 木工ろくろ | 24 | 49 | 15 | 22 | 16 | 32 | 34 | 51 |
| 24 | 成形プレス装置 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 25 | フラッシュプレス | 3 | 7 | 7 | 7 | 11 | 12 | — | — |
| 26 | 木工倣い施盤 | 40 | 19 | 20 | 36 | 27 | 70 | 10 | 17 |
| 27 | 超高仕上かな機 | — | — | 1 | 1 | 1 | 1 | — | — |
| 28 | 倣いルーター | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 29 | 帯のこ盤 | 43 | 35 | 63 | 99 | 53 | 93 | 30 | 65 |
| 30 | ルーターマシン | 11 | 4 | 6 | 6 | 2 | 3 | 2 | 2 |
| 31 | リップソー | 0 | 1 | 1 | 1 | — | — | — | — |
| 32 | ロッキングマシン | 23 | 19 | 11 | 16 | 6 | 6 | 7 | 7 |
| 33 | N C ルーター | 2 | 2 | — | — | — | — | — | — |
| 34 | コンピュータカッティングマシン | — | 11 | 5 | 15 | 2 | 41 | 4 | 18 |
| 35 | コッピンマシン | — | — | — | — | — | — | — | — |
| | 計 | 979 | 1,009 | 808 | 4,135 | 710 | 2,350 | 745 | 1,430 |